

## お客様ご紹介

■ 経済ジャーナリスト 須田 慎一郎 様



■ 第2770地区 第4グループ  
ガバナー補佐 小暮 昭弘 様

ご紹介： 副会長 内山泰成



## ご挨拶 荒井 伸夫 会員



皆さんこんにちは。お久しぶりです。コロナで例会のない時期もあったので、半年ぶりくらいです。

今年は熱暑酷暑とは無縁の夏を送っておりました。須田先生のお話があるということで、ひとつのきっかけかなと

社会復帰しました。ご心配おかけしました。ありがとうございました。

## 卓 話



須田 慎一郎 様

経済ジャーナリスト。1961年、東京生まれ。日本大学経済学部卒。経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。「夕刊フジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などで執筆活動を続けるかたわら、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」、文化放送「須田慎一郎のこんなことだった!! 誰にもわかる経済学」他、テレビ、ラジオの報道番組等で活躍中。また、平成19年から24年まで、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発している。

ご紹介：プログラム委員長 小林政良



新型コロナウイルスの影響による  
日本経済の状況と今後の展開について

### ◆ 安倍総理が辞職を表明 ◆

路線は継続するであろうと思われます。政治がどういう方向に向かっているのかを見据えて経済の動きを見ることが大切。コロナ対策+景気対策を両立していく危機管理内閣となる次期総裁と、その後の解散総選挙に注目していきましょう。



### ◆ 景気 ◆

戦後最大の落ち込みを記録しました。(4.5.6月期のGDPが対前期-7.8%)  
自粛による個人消費の落ち込みが大きい。対前期-8.2% GDPの6割弱を占める大きさ。



「負のスパイラルに警戒」個人消費が落ち込む→企業の業績悪化→人員整理？冬のボーナスは？→個人消費がまた落ち込む

### ◆ 自治体のコロナ対策は適切か 誤った対応で、地域経済に大きな影響が ◆

接待を伴う飲食店が1000軒あるという浜松市に取材。日本で第2位の100名を超えるクラスターが発生していました。

→行政上の対応ミス…積極的疫学調査が間違っていた？自己申告→無条件でのPCR検査を実施。

歓楽街が閑散(コロナ前の1/10以下)としている現況…行政上の対応ミスがあると、周辺の関係先までも落ち込み→負のスパイラルが生まれかねない。

住民と直接向き合っている「自治体」の新型コロナウイルス対策(ガイドライン→基準を満たせばマークなどを使えるなど)のやり方によって、地域経済に大きな影響を及ぼす。